

- 季節の花：ダリア・ススキ
- コラム：種なしぶどうの誕生 ジベレリン
- 情報：花のイベント

ふらっとふらわーず ニュース

- 発行：ふらっとふらわーず
- 2015 秋号：第12号
- 連絡先：042-682-2835
- 編集委員：内田信子

季節の花

★【ダリア】キク科テンジクボタン属

夏の終わりから秋にかけて、小輪種から大輪種まで、様々な花の色や形で楽しませてくれる花で、アレンシメントや花束、ガーデンングでも人気があります。

原産地はメキシコで、国花です。自生地でもあったアステカ帝国では、神聖な花とされており、現地名は**アコクトリ(水笛)**で、花茎がストローのように中空になっているところに由来するとされます。原産地は熱帯の高地で、夏は冷涼、冬は温暖、春から夏に雨が多く、冬は乾燥となる地域で、日当たりと水はけのよいところに育ちます。が、日本では夏が高温となるため、葉は茂っても花が咲きにへく、**秋に多く咲きます。**

1789年、メキシコシティの植物園からスペインの**マドリッド植物園**にタネが送られたのがヨーロッパでの栽培の始まりです。当時のマドリッド植物園園長が植物学者の**アンドレアス・タールの名前にちなんで**この植物を「**ダリア**」と名付けました。当初は門外不出扱いでしたが、やがて世間に広がっていき、様々な品種が生まれるようになりました。

日本には天保12年(1841年)、**オランダ船**によってもたらされたと考えられます。入ってきた頃は**テンジクボタン(天竺牡丹)**と呼ばれ、一部で栽培されていました。天竺とはインドの事なので、初期にはインドからきた花であると思われるようです。明治も中頃を過ぎた頃には一般でも盛んに栽培されるようになり、**明治の末に赤坂で第1回のダリア品評会**が開催されたそうです。

ダリア属の植物は、メキシコから中米に27種が分布しており、**茎が木質化する3種をツリーダリア**と呼びます。**皇帝ダリア**は、そのなかでも特に茎が太くなり草丈が高くなります。**日が短くならないと花芽がでない**ので、開花期が遅く**11月下旬**から咲き出します。近くに街灯や電灯があると日が長いと感じ、花芽をつけないので注意が必要です。よく成長すると5〜6mにも達し、2階の窓から花を楽しめるようになります。花壇や庭に花が少なくなくなる季節に、大きく逞しい姿で楽しませてくれます。

育て方
栽培環境：冬期は地中の球根で越冬しますが、凍結や多湿を防ぐため、場所によっては掘り上げて春まで貯蔵する必要があります。
水やり：球根植物なので乾燥には耐え、滞水は球根を腐らせませす。鉢植えは、蕾が見えてから開花中は乾燥に注意します。
肥料：元肥のほか、5月と9月に追肥。
ふやし方：主に分球。さし芽やタネからも、つぎ木も可能。

花言葉
「華麗」「優雅」「不安定」 皇帝ダリア
「乙女の真心」(参考：趣味の園芸、ヤサシイエンゲイ、hananokotoba.com)



おやまはやし



エンゲルハルツ・マタドール



皇帝ダリア

★【すすき(尾花・薄)】イネ科ススキ属

「すすき」は秋を象徴する植物として日本文化の中で重要な植物で、**十五夜の飾り**、時絵などの秋草紋様、ミニスクなどの郷土玩具などに見られます。かつては**屋根をふく材料**としても重要で、そのため人里近くには必ず**萱場(かやば)**と呼ばれる「すすき」を採集するための場所がありました。萱場では定期的に「すすき」が刈られるためにほかの植物が生育する環境が保たれていたのですが、屋根をふくことが少なくなったため、すすき草原では維持のための野焼きを行っていたそうです。

「すすき」は「**秋の七草**」の一つとして数えられますが、これは万葉の歌人、**山上憶良**が二首の歌に詠んで以来、日本の秋を代表する草花として親しまれるようになったとされます。

秋の野に咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花
萩の花 尾花 葛花 瞿麦の花 女郎花 また 藤袴 朝顔の花
朝顔はキキョウであるという説が有力なようです。
ところで、なぜ十五夜に、「すすき」を供えるのでしょうか？
お月見は**豊作祈願**と、**芋類の収穫祭**だったという説があり、お月見の時期に稲穂が無かったため稲穂に似た「すすき」を供えるようになったといわれています。また、古くから「すすき」には、**魔除けの力**があるといわれていたようです。ちなみに、お月見の日にお米の粉で作った団子を供えたのがお月見団子の始まりといわれています。

花言葉
「活力」「心が通じる」(hananokotoba.com)
(参考：趣味の園芸、いい日本再発見、豆知識PRESS、箱根ナビ)



コラム

植物ホルモン シベレリン

種なしぶどうの誕生

秋になるとたくさんの果物が店頭に並びます。ぶどうはその代表的存在で、たくさんある品種があります。今は当たり前になった**種の無いぶどう**。このぶどうの種無し化は、昭和30年代の初頭、**日本が世界にさきがけて開発した技術**です。この技術、「ぶどうの種無し」を目的とした研究の成果としてではなく、偶然の発見によるものでした。

「ばか苗病」という病気があります。ピヨロツと丈の高い苗になるもので、その苗を植えても、草丈は伸びるがやがて枯れてしまします。大正末期、苗病研究に取り組んでいた黒沢英一氏が、「一種の毒素」を分泌し、その分泌物質が植物を徒長させることを発見します。しかしその病菌に問題はなく、その**分泌物質に徒長効果**があることがわかりました。



そして、この徒長物質の化学構造が明かにされ、「**シベレリン**」と命名されました。ばか苗病菌の学名シベレリナにちなんで付けられたそうです。これが、**日本人が発見した植物ホルモン「シベレリン」**です。これは、茎の伸長を促進したり、種子の発芽を促進させたりする働きがあります。昭和33年の山梨農試などの試験で、**テラウエア**の果粒が密生し、生長の過程で裂果を起しやすいため、シベレリンで穂軸を長くすれば、果粒を間引かなくとも裂果が防げ、収量も上がるのでは、と考えての試験が行われました。ところが、**開花前に処理**をおこなったところ、**種の無い果実が偶然**みつかったのです。しかも熟期が早くなりました。そこでこの試験は種なしづくりに方針が変更されました。最大の難関は果粒が小さいことだったので、これも翌34年の試験で**開花後にもう一度処理**を行なうことで解決できました。現在、**開花する2週間前**に、**水に溶かしたシベレリン**に**1つ1つ浸し**種なしにします。しかしその後、元々ぶどう内で作られるはずの「シベレリン」が作られず成長が止まってしまうので、大きくするためにもう一度「シベレリン」液につけるそうです。

ぶどうの中には**元々種の無い実**が出来る品種(**無核品種**)もあります。これは受精しにくい、あるいは受精してもその後細胞分裂がしにくくなる事で種を形成しません。この無核品種は花が咲く頃になると、**果粒内にシベレリンを多く含む**ようになります。つまり、**ぶどう自身がシベレリン処理**をしているのです。一方「種ありぶどう」は、受精後に種子が形成された後、**種子自体がシベレリンやその他の植物ホルモンを生成**して、果粒が肥大していきます。つまり「種無し」「種あり」とともに、外からか、自分自身からかは異なりますが、**どちらもシベレリンの作用を受けている**ことになります。シベレリンの利用はぶどう以外にも、その他果物、野菜類、生花類など、多岐にわたっています。このように「シベレリン」は自然界に存在し、半世紀以上も使用されていながら、何らかの弊害が生じたという報告が未だないという事ですから、これからも安心して種なしの食べ物を楽しみたいと思います。



ジベレリン処理
満開期後にこのようなカップに入れた「ジベレリン液」にひと房ずつ浸します
(※液は赤くないこともあります)

(参考：公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会、奈良県農業技術センター、安心院ぶどう農園、高倉ぶどう園、果物ナビ)

情報

花のイベント

(事前にご確認ください)

- コスモまつり2015
9月12日(土)〜11月3日(火) 国営昭和記念公園
- 日比谷公園カーテイングショー2014
10月17日(土)〜10月25日(日) 日比谷公園
- 「両神山麓花の郷」ダリア園
9月1日(火)〜11月3日(火) 埼玉県小鹿野町両神薄
- 稲取細野高原「秋のすすきイベント」
10月7日(水)〜11月15日(日) 静岡県賀茂郡 東伊豆町稲取細野高原伊豆



ピオーネ